



# ブラジル伝道庁 HARP講習会 出向報告

学生担当委員会 副委員長 福江 弘一

去る五月十三日(土) ブラジル伝道庁において、「HARP講習会」が開催された。受講生六十四名、スタッフ十八名、計八十二名の参加者が終始熱心につとめてくださった。



前日の十二日には、熟練のスタッフに対して翌日の「HARP講習会」で行うエクササイズの研究をし、その後は休むことなく夜遅くまで全体司会やトレーナーなど、役割を確認していた。今回の内容としては、本年度の「まなびば」で行うエクササイズを軸に、ブラジル学生担当委員会が独自に開発した「エクササイズを作ろう」というエクササイズも実施し、当日は好評を博していた。

ブラジルには「GAKUSHU」という言葉があるくらい、毎年一月に開かれる「学生生徒講習会(学習)」がとても身近である。一月の第二週のうちの五日間、参加者三百名前後が集まるこの育成行事は、おちばで開催される「学生生徒修養会」同様、班体制で各班にカウンセラーがつき、充実した内容で教理を学び、仲間と



のつながりを感じるプログラムを軸に開催されている。

ブラジルでの「HARP講習会」は、「GAKUSHU」等の学生層行事のスタッフを育成する場ともなっている。松崎学生担当委員長から、「GAKUSHU」に参加した

学生が、やがて『HARP講習会』受講を経て、再び『GAKUSHU』にスタッフとして携わっていく姿に、若者の育つ現場としての学生会活動が今のブラジルの教勢を支えるエンジンだ」との話を伺い、理想的な育成体制であると感じた。また、本年から、「学生生徒修養会大学の部」にあたる「学生三日講習会」を開催することとなり、プログラムの充実に向けて様々な質問や要請を受けた。ブラジル学生担当委員会の貪欲な熱意に感動しつつ、自らに改めて人材育成におけるHARPの重要性を問い直しながら、懸命に講習会をつとめさせていただいた。また、翌十四日(日)には、伝道庁五月月次祭がつとめられ、約五百名の参拝者を対象に「学生層育成者講習会」をつとめさせていただいた。

ブラジルでは、社会人になって数年後も働きながら大学で学ぶ人が多く、学生会行事の対象とする学生層が、三十歳前後の世代まで及んでおり、まさにブラジ

ルの人材育成の要を学生担当委員会が担っていると感じた。担当委員の方々とこれからの社会で信仰を続ける若者をどのようにサポートしていくのかを練り合いながら、おちばから遠く離れた地でも、同じ気持ちで育成に当たっている仲間がいることに、胸が熱くなり、大きな勇気を頂戴した今回の出向であった。



## 青空

学生時代、私は直属学生会で委員長をさせていた。が、その頃の自分が「Happist」を手取る理由は、「表紙の女の子は可愛いか」とか「知り合いは載っていないか」とか、読むというよりも眺める程度で、恥ずかしながら内容をしつかり読んだことはほとんどなかった。

そんな自分が、恐れ多くも「Happist」編集というご用を頂いてから約三年がたち、今月で終わりを迎える。最初は、全国に発行される雑誌を編集するご用が自分に務まるのかと不安な気持ちでいっぱいだったが、このご用ができて本当に良かったと今、心から思わせていただく。

「Happist」を通して多くの学生と関わったこの三年間。世間とお道の間で心が揺れ動きやすい学生にとって、お道の先輩方の信仰についてのお話や、共にお道を通る仲間の姿や思いが詰まった「Happist」は心の支えになると強く感じる。「Happist」を眺めるだけだった昔の自分とは違い、しっかりと内容を読んでもらえるよう、ご用が終わっても「Happist」の活用を促していきたい。

出版部局員 田中美紀

## 学生生徒修養会 高校の部 送迎実施一覧

「立教180年 学生生徒修養会 高校の部」において、系統を問わず受講生の送迎を行う予定の教区・直属をお知らせいたします。各教区・直属の送迎担当者の連絡先を掲載していますので、動員の上にご活用ください。

詳細につきましては各担当者と直接打ち合わせていただきますようお願いいたします。

都道府県	教区・直属	送迎担当者	連絡先
埼玉	秩父大教会	中畝	
広島	広島教区	伊藤	
岐阜	岐美大教会	安江	
滋賀	中野大教会	丹羽	
高知	高知教区	谷田	
北海道	北海道教区	北村	
宮崎	宮崎教区	中川	
静岡	山名大教会	寺田	
青森	青森教区	市村	
石川	石川教区	高淵	
大分	中津大教会	小畑	
山口	防府大教会	周田	
茨城	茨城教区	大竹	
山梨	甲府大教会	中嶋	
石川	鹿島大教会	清水	

### Check it out !

「学生生徒修養会 高校の部」の詳細、必要事項をTSA websiteにアップします。是非ご活用ください。  
<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

## 直属担当者懇談会 開催報告

去る五月二十五日、本部第三十八母屋において、直属担当者懇談会を開催し、百三十八直属、二百七人が参加しました。開講式で松村委員長は「本日は、特に夏の学修に向けて、動員の仕方など、それぞれの直属教会の情報交換を通して、どのような取り組みを行なっていけばよいかを考へる場にしていただきたい」と挨拶し、続いて、学生生徒修養会部より学修のPRを映像などを使用し、回数で分けられていたプログラムを、今後は学年に分けて取り組んでいくことの具体的な説明や、学修の魅力についての発表がありました。その後、学修のスタッフ経験者より体験発表、直属学生担当委員長より活動発表、計二名による発表を行いました。

二人目の秋岡文夫先生（西宮大教会 学生担当委員長）は、「まず、学修に動員する上で大切なことは、その高校生をその後しっかりと教会につながるようになってもらうように丹精することである」とお話しくださいました。また、西宮学担の委員の一人が、ある高校生をお誘いする中、親御さんから断られ、無理だとあきらめていたところ、大教会長様より「もうひと押しをするように」との声をいだけられ、今一度声がけに足を運んだところ、不思議にも参加のご守護をいただいたという経験も紹介してください、何事も親の声として素直に動く姿勢が大切だとお話しくださいました。

二人の活動発表の後、グループに分かれ、学修のプログラムの中で用いることが多い、「クロスインタビュー」というエクササイズを用いて、一人ひとりが膝を突き合わせて、お互いの質問に答え合い、学修への動員の方法をはじめ、学生への具体的な丹精の方法、行事の持ち方、各会との連携などをねりあいました。

学修PRや活動発表を聞いた後のねりあいでしたので、各グループで活発な意見交換が行われました。

## 「まなびば」開催会場一覧 《7月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	連絡先
東京	7月15日13時～16日15時	教務支庁	牧野	
北海道※	7月16日13時30分～ 17日14時30分	小樽天理教館	高橋	
福岡	7月16日10時～17日15時	教務支庁	崎田	

※小樽・余市・倶知安支部

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

大学生の集い「Work&Talk」ブロック別 開催一覧

ブロック	日程	会場
北海道ブロック	8月19日14時～20日14時	北海道教務支庁
東北ブロック	8月29日13時～30日12時	東八甲田家族旅行村（青森）
関東ブロック	12月2日11時～3日16時	秦野大教会（神奈川）
東海ブロック	9月2日12時～3日15時	嶽東大教会（静岡）
中国ブロック	8月28日13時～29日15時	広島教務支庁
四国ブロック	9月2日12時～3日12時	繁藤大教会（高知）
九州ブロック	8月12日13時～13日14時	大分教務支庁

※詳細につきましては、各教区学生担当委員会までお問い合わせください。

お知らせ

七月例会

- ・期日 立教180年7月25日
- ・時間 15時半受付 16時開始
- ・場所 東右第4棟4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

- | 【教区】 | 日程           | 会場   |
|------|--------------|------|
| ・岩手  | 7月2日10時～     | 教務支庁 |
| 【直属】 |              |      |
| ・錦江  | 7月6日12時30分～  | 大教会  |
| ・本理世 | 7月6日13時15分～  | 大教会  |
| ・磐城平 | 7月8日10時～     | 大教会  |
| ・愛静  | 7月20日11時45分～ | 大教会  |
| ・東肥  | 7月21日10時～    | 大教会  |
| ・東愛  | 7月22日11時30分～ | 大教会  |
| ・鹿島  | 7月22日11時30分～ | 大教会  |

報告

五月例会

去る5月25日、第38母屋9階大広間に於いて「五月例会」を開催。出席は40教区、138直属。

各地の動き

【海外HARP講習会】

・ブラジル 5月13日 伝道庁

【海外学生層育成者講習会】

・ブラジル 5月14日 伝道庁

【直属学生層育成者講習会】

- |      |       |     |      |
|------|-------|-----|------|
| ・高松  | 5月6日  | 大教会 | 150名 |
| ・深川  | 5月13日 | 大教会 | 160名 |
| ・雨龍  | 5月18日 | 大教会 | 134名 |
| ・秩父  | 5月20日 | 大教会 | 230名 |
| ・本荘  | 5月20日 | 大教会 | 109名 |
| ・河原町 | 5月21日 | 大教会 | 115名 |
| ・浅草  | 5月21日 | 大教会 | 212名 |
| ・都賀  | 5月21日 | 大教会 | 120名 |
| ・周東  | 5月21日 | 大教会 | 200名 |

Happist × 創刊30周年

Happist8月号は「創刊30周年記念号」

「はっぴすと」(当時)を1987年9月に創刊し、今年8月、30周年の節目を迎えます。そこで8月号では、30周年記念号として「はっぴすと」の誕生秘話やスペシャルインタビューなど、30周年にふさわしい企画が満載のPREMIUMな「Happist」をお届けします。



PR号 昭和61年 創刊号 昭和62年 100号 平成7年 200号 平成16年 300号 平成24年



コジロー デリー シスオ

おかげをもちまして、創刊30周年を迎えることができました。今後とも「Happist」をよろしくお願いいたします。



Happist8月号 予告

【特集】

Happist創刊30周年記念企画

連載

- ・教理コーナー **お道の？を一緒に考えよう！ 田邊 大治** (此花大教会長)
- ・人生を彩る1冊をあなたに。 **虹色のしおり 澤井 一郎** (天理教校本科研究課程講師・敷土分教会長)
- ・信仰エッセー **明日の地図ひろげて 脇 直子** (東明実分教会長夫人)
- ・漫画 **ココロtravel ニシカワ ヨウコ**

特別インタビュー

天理教青年会長 中山 大亮様



個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行ってまいります。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。